

<対策のポイント>

アジア・アフリカの発展途上国において、それぞれの地域の課題解決に貢献し、我が国のかんがい排水分野を中心とした先進的な技術を活用した農業農村開発技術の検討を通じ、それぞれの地域の課題解決と、本邦企業の海外展開を促進します。

<政策目標>

GFVCの構築を支援（本事業実施後に途上国で適用可能な制度を3件以上開発〔令和7年度まで〕）。

<事業の内容>

1. かんがい排水情報基盤システム構築支援 27（－）百万円

アジア地域において、農業農村開発技術を中心とした本邦企業の海外展開をより一層促進するため、既存農業水利インフラの維持管理・運営の高度化を実現するデジタル技術・データを活用したかんがい排水情報基盤システムの構築、カーボンニュートラルに向けた小水力発電など、農業農村整備に関連する技術を包括したパッケージでの導入に向けた現地実証等を行う。

2. アフリカ等における本邦企業の展開拠点ほ場整備の支援 35（－）百万円

農業関連の本邦企業のアフリカ等への進出を支援するため、我が国の優れた農業技術を現地で実演する展示ほ場を農業基盤整備により造成する。

3. アフリカにおける稲作振興支援 35（－）百万円

アフリカ稲作地域において、米の増産を実現するため、我が国のかんがいに関する知見を活用した、効率的な水田の排水改良、かんがい用水の上下流域への公平な水配分、環境保全に貢献する小水力発電によるかんがい設備の電源確保等に関する現地適合技術の開発を支援する。

事業実施期間： 1、3の事業 令和4年度～令和6年度
2の事業 令和4年度～令和7年度

<事業の流れ>



<事業イメージ>

かんがい排水情報基盤システム構築支援

<課題>

アジア地域において、都市部へ農業労働力が流出
→農業の効率化・省力化が求められている



アフリカ等における本邦企業の展開拠点ほ場整備の支援

<課題>

欧州や中国・韓国と比べて、本邦企業のアフリカ等への進出は大きく出遅れている状況
→我が国の優れた技術を現地で実演し、販売促進



アフリカにおける稲作振興支援

<課題>

・水田の排水不良による生産性の低下
・上流優先取水による非効率な水利用
・かんがい設備の動力源不足

